

一月分調査整理月報附録

細部の著意と必要とする調査完明の事例集

其の三

昭和二十七年三月十日
中部復員連絡局名古屋支部

0268

細部の着意を必要とする調査究明の事例集 其の三

一、舞鶴復員部再調査書により、無資料者一擧死亡判明し、事例

歩三八二連伊藤清(處決済者)の調査経緯

1. 本人についての留守尾保有資料は三八部隊大栗隊(三軍經理部東寧出張所)に軍属として勤務中、ムス間島の部隊に應召したと豫備役歩兵上等兵であること以外全く不明のものである

2. 右により應召部隊は三八師團と判定し歩三八二連と推定していた

3. 24.5.19 本人と共に東寧出張所に軍属として勤務中であつた戦友の岐鼻縣細野勝見に通信照會の結果間島の部隊に應召した事、身以外不明であつた

4. 25.3.19 石支より左の通報を受く

愛知縣、古茂山死亡者、砥谷某の遺骨中に兵長伊藤清の遺髪混入しあり、率領者中付、村回要司

5. 縣内同姓同名者中の元亡遺理済者と調査した所、三石あり、も前統該當者と思われ、者はないが、其の遺髪が本人のものとは断定は出来ない、名支に於ても同姓同名者の調査と身寄せられたが、該當者と断定し得る

0269

迄には至らなかつた

又率領者に對しても名支より照會せられぬがその率領者は多数の遺骨遺留品を携行した者で個人のことについては一切不明であつた

の先づ確實な應召部隊を調査するのが先決要件であるので其の後東京軍の張所関係者中の復員者と調査し通信調査を数回に亘つて実施したが

應召の事實以外確實な部隊を掌握することは出来なかつた
26年4月 課内保有の不明覺書一斉調査を實施した際「元三九部隊雇員伊藤清とは同一大隊で入ソ20.10.20.ウラスキーで別れん」との覺書を發見し細

部調査のための通信照會の結果開戦前應召したことは記憶しているが部隊は不明で入ソの事實も全く知らぬ、入ソ資料を提供した記憶なしとの回答あり

26.10.24 舞確復員部で再調査せる左の覺書を受領す、提供者は同部隊
廣島縣 居神四助

三七三〇四部隊 兵長 伊藤清 26.6.6.ネロスカヤ轉屬(甲)

又右該當者と判断し細部調査のための提供者に写真を附し通信照會の結果果本人に間違いないこと所屬は歩三八二連二機中であること判明する

別紙第五

B表

主要業務処理状況一覽表

名古屋支都
昭和27年1月末調

1271

	前月との繰越数	当月受数	当月処理(移管)数	翌月への繰越数	処理数累計
遺骨	2	2	2	2	2,9743
遺壺	0	0	0	0	580
遺留品	1	0	0	1	2,176

	当月末 保管総数	同 詳				その他 のもの
		関係世帯等 送移管受のもの	交付先 本籍地不明のもの	調査中 のもの	調査中 のもの	
遺骨	2	0	2	0	2	0
遺壺	0	0	0	0	0	0
遺留品	1	0	1	0	1	0

参考

	愛知		静岡		岐阜		三重		石川		富山		計								
	死亡 公報	遺骨 遺壺	死亡 公報	遺骨 遺壺	死亡 公報	遺骨 遺壺	死亡 公報	遺骨 遺壺	死亡 公報	遺骨 遺壺	死亡 公報	遺骨 遺壺	遺留品	死亡 公報	遺骨 遺壺	遺留品					
留守担当者受領 の意思のほりもの (3)取人断絶	6	0	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	20	1	
調査(本籍地不明のもの)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	3	3	0	0	
調査(現住所不明のもの)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	3	6	
調査(その他)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	3	2

	招致調査 (職員派遣調査)							窓口調査						通信調査							
	愛知	静岡	岐阜	三重	石川	富山	計	愛知	静岡	岐阜	三重	石川	富山	計	愛知	静岡	岐阜	三重	石川	富山	計
招致人員数	30	25	4	2	4	3	72								1058	209	390	231	815	397	3140
(招致職員数)	(6)	0	(3)	(3)	0	(4)	(16)								5897	6270	5462	4363	8665	2545	37605
出頭人員数	14	19	7	2	4	0	46	57	26	6	1	13	0	103	370	180	249	53	534	162	1588
(招致先人員数)	(6)	0	(3)	(2)	0	(1)	(17)								4877	3142	2677	2178	3647	1511	18102

別紙第六

當月實施した調査究明關係の主要行事に基く將來の参考意見

第一、第一課關係

一担任乙部隊の調査

二月十八十九日合調豫定の支部担任乙部隊である第一二四師団輜重隊の所属既復員者に對し總當り調査を實施し月末迄に判明した成果左の通りである

左記

一死亡現認

一二名

二死亡確認

五名

三無資料より有資料へ

二五名

四細部所属判明

六名

ニバラ部隊の資料送付

支部に於て通信調査により収集した独立輜重第七中隊の資料を整理し石支業第五三九號により關係官公署に送付した
成果の概要及今後の調査上の着意する事項は次の通りである

成果の概要

本昭20.3.15現地應召者の教育教官助教の氏名

口部隊行動

既得資料の補備

八作業大隊編成及入ソ状況

ニ私信に使用した郵便所名及検閲者(印)

ホ個人資料、中間(更新)資料十一件

ニ今後の調査上の着意すべき事項

本部隊の主力及残留隊は愛河海林に於て合流し武解後三ヶ^{作業}大隊(海林
一四九六一三五六一九六)に編入入ソしてゐるので調査上容易であり現未歸
還者の調査場面から更に收容所(特にタイセット、ウオロエロフ収の裏勤状
況)の調査を實施する必要がある

第二、第二課関係

一昨年十一月實施した独歩第五八七大隊の合同調査に参加せざる好資料係
有者に対し補備調査(通信)を實施すると共に合調にて新たに掌裡し

ニ復員者に対し補備調査を實施した

ニ支部バラ部隊たる輜五七五八大隊の通信調査準備を實施した

三留守業務部第二課主宰で左の如く支部に於いて合同調査を實施せられたので各主任者は参加協力した

一月二十二、三日

歩 二五回

一月二十三、四日

一八九師挺大

歩 二五回について

綿密周到なる準備により實施せられた特に卓山派遣隊の人名掌握並卓山より後退中の落伍、生死不明者の認定に必要なる基礎資料を収集する如く實施せられた

合同成果は招致者の選定適切で且出席者の状況もよく所期の成果を得られた

特に卓山派遣隊の人名は概ね把握せられた尚今迄不明であった橋口戦十(行動)群の認定基礎資料の「セント」も掌握せられた

一八九師挺大について

一、本部隊も既得資料の整理周到であつて合同調査に於いては各中小隊の編成人名の掌握並第二中隊のウヌール附近の戦斗損耗の人名裏付も重点とせられた

0274

招致者は殆んど當時の人事に通曉せるもので今後合同調査の必要なしと思はれる迄に多大の成果を挙げ得た事は同慶に堪へない次第である

口尚收容所の編成表を作り之に基き個人資料の究明を實施せられたる大の効果と挙げられた事は將來收容所調査上大なるヒントを與へたものと思ふ

第三、收容所関係

イズベスト地凸の通信調査を實施する爲の準備を實施した

第四、地点関係

担任地英拉吉の補備調査を概了し晨に實施した合同調査成果と併せ整理出来たので旬日中に関係各官公署に發表の豫定である

第五、會同参加

一月十日十一日愛知せ話課担任乙部隊である陸勤九二中隊の招致調査を主として静岡縣下の既従員有志を静岡せ話課に招致して合同調査を實施せられたので主任者として参加協力した
本會同は特に個人究明を主眼とし既得資料の確度向上を重要とし

且つ本隊の海林川に於ける死亡推定場面資料収集を重視實施せらる
たのであったが出席率概ね良好であり且つ出席者の積極的調査協力の
結果其の目的を達成し得たものと考へられる
成果の概要は次の通りである

個人資料

死亡現認

海林川死亡推定再確認

更新資料

既得資料確度甲

部隊資料

東安本隊

虎林一七野戦隊派遣隊、小竹隊

二月二十八日留部第一資料現認主宰でタイセット地区、フラゴニ地区の呼

出調査並所屬不明収容所関係の調査局面判定についての研究を静岡せ

話課に於て實質施せられたので主任者も参加協力せしめた

本調査は静岡近郊に在るタイセット、フラゴニ地区関係の病院各分析の

一名

二一名

一回名

二三名

部隊行動概ね完成

0276

好資料係所有者を招致して立として死亡者の把握迄未把握死亡者入院者の把握を重視して専ら実施せられた事前の周到なる準備と綿密なる調査により所望の成果を得られた細部左の如し

収容所別	調査重 点	成 果
タイセツト 地 区	一 作大と基礎とした第一二三分所の人名掌握故地区病院に入院した者の人名裏付 ニ 死亡多発せる第五七九病院の死亡者入院者の確認	現認書 九名(内三名未把握者) 死亡資料 九名(内二名) 生存資料 三二名(内四名) 其 他 一一名 右の个々名をエフカカ病院死体處理に從事しん鈴木仁平氏提供の確認書二回収及死亡(甲)資料約六〇枚(死亡諸元不現)あり
アラゴエ 地 区	一 クイブシエフカカ病院中共病院に於ける死亡者の把握及未把握者の掌握 ニ 第九分所死亡者及入院者の確認	

今後の調査上の意見
 一 各収容所病院共未把握死亡者入院者の掌握と必要とする

2. 各分所よりする入院者の人名把握(同部隊面より調査を要する)

3. 隠れた好資料保有者の掌握

4. 第一資料総班に於いて各分所病院毎に整理せられてゐる好資料保有者は印刷して全國各官署に配布して全国的に利用する如くせられたい

第六. 其の他

二月二十日、二十一日、両日三重縣二見町及津市に於て邦人調査主任者會同が實施せられたので参加した

第四期調査計畫及昭和二十七年年度調査に關する指示並に二十六年度の各世話課の成果研討を詳細具體的に亘り實施し今後の調査上有益なる會同であつた

二月八日三重世話課、二月九日岐阜世話課、二月十日静岡世話課をそれぞれ業務視察したるが遺家族の補償業務は順調に進捗して居り調査能力減少にも拘はらず係長及各主任者の熱心なる努力により困難なる無資料者の究明に著々成果を擧げて居る事は喜ばしい次第である
三月十八日支部調査各係長に依り所屬不明者及無資料者の究明會同を實施し相當の成果を擧げ得た、特に現地應召者の所屬を判

0278

定し或は所属判定の誤りも発見したもの相當数のあった

- 0279